

県立我孫子高等学校

目 標

- ・ 次年度の台湾修学旅行に向けて、生徒に国際理解の必要性の認識を促す。
- ・ 生徒に多文化に対する学習意欲や興味・関心を高めることを促す。

留学生等との交流会の開催

(1) 日 時：平成30年11月14日（水）13時25分から15時15分

(2) 会 場：各ホームルーム教室

(3) 留学生等：中央学院大学の留学生2名、
及び淡江大学（台湾）所属の交換留学生2名

(4) 参加者：第1学年生徒323名、教員15名、 計 338名

(5) 内 容：

- ・ 各留学生に自国・地域を紹介する資料（パワーポイント）を作成してもらい、プレゼンテーションをしてもらった。その後、質疑応答の時間を設けた。
- ・ 全クラスが台湾の学生との交流の時間を取れるように、下記表のような形で留学生に移動してもらい、プレゼンテーションをお願いした。

クラス	5 限		6 限	
	前半	後半	前半	後半
A	①	③	授業	
B	授業		①	③
C	授業		③	①
D	授業		①	④
E	③	①	授業	
F	授業		④	②
G	②	④	授業	
H	④	②	授業	

①台湾の留学生 ②台湾の留学生 ③ベトナムの留学生 ④ネパールの留学生

(6) 事前学習：実施していない。

(7) 事後指導：交流会当日放課後、応接室にて有志による交流会を行った。

(8) 参加者の感想等：

- ・ 台湾のみならず他のアジアの国のことも知ることができて、学びが多かった。
- ・ 台湾のことを紹介してもらって、イメージが少し湧いた。
- ・ プレゼンテーションを通じて、質疑応答があったので、内容がよく理解できた。

海外理解促進のための講演会

- (1) 日 時：平成30年11月7日（水）14時25分から15時15分
- (2) 会 場：本校体育館
- (3) 講 師：氏名 へさき 康彦 氏
所属 我孫子市国際交流協会会長
経歴 大学卒業後、精密機器商社に勤務。ドイツ・アメリカで計15年程度の駐在歴あり。現在、我孫子市国際交流協会会長として、通訳、翻訳業に従事。
- (4) 参加者：第1学年生徒314名、教員15名、保護者2名、 計 331名
- (5) 内 容：演題「異文化を知る（宗教，民族，言語）ドイツ，アメリカに住んでみて」
ユダヤ教、キリスト教、イスラム教などの宗教の成り立ち、民族、言語の違いなどを概説された。
また、ドイツやアメリカでの在勤期間の経験などをお話くださった。
- (6) 事前学習：実施していない。
- (7) 事後指導：アンケートを実施。また、講演者に向けてのメッセージも書いた。
- (8) 参加者の感想等：
・今までは2年次の修学旅行の国際交流に不安があったが、講演を伺ってその不安が軽減された。
・知らないことだらけだったので、色々と学べてよかった。
・異文化についてたくさん学ぶことができた。日本の文化も、他の国・地域の文化も大切にしていこうと思う。

事業の成果

- ・ 日本で学ぶ留学生のそれぞれの国の事について直接話を聞くことにより、多くの生徒が海外に対する興味・関心が高まった。
- ・ 海外駐在経験を持つ方の話を聞くことによって、「日本の常識は非常識」といった面を知ることができ、海外での言動について意識して気を付けるべき点などを理解できた。
- ・ 本事業を実施するに当たり、校内での国際理解に対する意識の醸成を図り、地域の大学・国際交流協会との連携体制を構築することができた。

今後考えられる新たな取組

- ・ グローバル人材プロジェクト事業実施校担当者による意見交換会
- ・ 台湾修学旅行に向けた事前学習・事後学習を含めた年間計画にグローバル人材事業を上手く取り入れる
- ・ 昨年度姉妹校締結した台湾の花蓮商業高級職業学校との恒久的な文化交流